

◆ 播磨町 総合戦略骨子（案）

基本コンセプト（案）

古代から未来へ 人とまちがきらめくはりま

- 播磨町で働きたい
- 播磨町で住みたい
- 播磨町で子育てしたい
- 播磨町で住み続けたい

計画の特徴

「第4次播磨町総合計画」でも、行政と住民の協働の重要性が強調されており、町の創生に向けては、住民、関係団体や民間事業者等と行政が連携して進めていくものとします。

計画期間

平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年）

推進体制

- ・各施策に重要業務評価指標(KPI)を設定し、PDCAサイクルにより施策の検証、見直し等を行います。
- ・住民の意見もふまえながら、総合戦略を客観的に効果検証します。

計画の位置づけ

- ・国が「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）を基に、本町における、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指します。
- ・「播磨町人口ビジョン」に基づき、今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめます。
- ・平成23年度を始期とする「第4次播磨町総合計画」を最上位計画として位置づけます。

基本目標（案）

1. 資源を活かした産業の振興で「しごと」を創る

人口減少や地域経済縮小の克服には、安定した雇用や、安定した収入が必要です。多くの人が安心して働くことができる環境整備に向け、住民・事業者・町が一体となって取り組みます。

* 「国：政策①地方における安定した雇用を創出する」に該当

2. 魅力を伝え、選ばれるまちとして「ひと」の交流・移住・定住の流れを創る

歴史や自然といった多くの魅力を積極的に発信し、交流や移住・定住を促進します。また、町内の子ども達が将来帰ってきたい、住み続けたいと思える郷土愛を育む取り組みを推進します。

* 「国：政策②地方への新しいひとの流れをつくる」に該当

3. 若い世代「ひと」を応援し、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る

若い世代が希望をもって、結婚、出産、子育てをすることができる播磨町を目指し、多様な世代で必要な支援を行います。

* 「国：政策③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に該当

4. 安全・安心を確保し持続可能な「まち」を創る

防災力を高め住民の安全・安心を確保します。子どもから高齢者まで安心して住めるまちとして、公共交通の充実と暮らしの利便性を図ります。また、近隣の市町と連携し、播磨町が豊かな地域として持続していくことを目指します。

* 「国：政策④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」に該当

基本的方向（案）

- 町の産業を活かし、若者の就業の場を見いだします
 - 地域経済の維持・活性化に向け地域の産業を支援します
 - 事業者のイノベーションや新事業の創出を支援します
 - 女性の社会進出や働きやすい環境整備を支援します
- 〈参考〉町内総生産：〇円・従業員数：〇人・町内就業・従業員数：〇人

- 町の魅力を積極的に情報発信します
 - 地域のコミュニティの活性化を図ります
 - ひとが輝くまちづくりを進めます
 - 「ふるさと播磨町」への愛着と誇りを育てます
 - 町へのUターン等、若年層の定住を支援します
- 〈参考〉流入者：〇人・流出者：〇人・播磨町に住み続けたい、戻ってきたいと思う17歳の割合：〇%

- 次世代を担う子どもたちの教育を充実します
 - 子育てしやすい環境を創ります
 - 多世代が支援する子育てのしくみづくりを進めます
 - 結婚から出産・子育てを支援します
- 〈参考〉合計特殊出生率：〇

- 安全・安心対策の充実したまちを創ります
 - 公共交通の充実など、利便性の高い快適なまちを創ります
 - 広域連携による持続可能な地域を創ります
- 〈参考〉暮らしやすいと感じる住民：〇%、現在のところに住み続けたいと思う割合：〇%